

★かざぐるまのプログラム内容★

〈健康・生活に対して〉

- ・健康状態のチェック（毎日の検温や、状態観察）を行います。
- ・手洗いうがいなどを行い、感染予防に努めます。
- ・基本的な生活スキル（睡眠、清潔保持、食事、排泄、更衣、入浴、整容など）が獲得できるように支援していきます。
- ・健康的な生活の基本となる食を営む力を育成し、楽しく食事をするができるように、畑仕事やクッキング、口腔機能訓練などを行っていきます。必要に応じて、箸などの道具操作練習や、自助具、姿勢保持に関する支援も行っていきます。
- ・社会生活が営めるように、社会的訓練（公共施設・交通機関の利用、買い物などの金銭管理の練習など）を行っていきます。
- ・特性に配慮した空間作りに努め、時間や空間を本人にわかりやすく提示していきます。

〈運動・感覚に対して〉

- ・遊びを通して基本的な運動能力の獲得を図り、姿勢保持や生活動作の獲得につなげていきます。また必要に応じて姿勢保持装置や補助具などの活用を検討していきます。
- ・関節拘縮や変形の予防に努め、ポジショニングなど検討していきます。
- ・自力での移動能力向上のため、歩行器、車いすなどの歩行補助具の使用や歩行の練習を行なっていきます。
- ・感覚あそびを通して、五感（視覚・聴覚・触覚・前庭覚・固有覚）の発達を促していきます。
- ・感覚過敏や鈍麻などの感覚の偏りを把握し、本人に合った環境調整などの支援を行っていきます。必要に応じてイヤマフや補聴器の使用などを検討していきます。

〈認知・行動に対して〉

- ・物の数や大きさ、形、色、音、時間の認識など、遊びを通してその変化の様子や違いについて学んでいきます。
- ・空間認知能力を高めることで、道具の操作性や学習・運動能力の向上、社会生活に必要な認識を広げていけるように支援していきます。
- ・感覚・認知の偏りやコミュニケーション障害などの特性に配慮することで行動障害を予防し、適切な行動へ対応できるように支援していきます。

〈言語・コミュニケーションに対して〉

- ・物と言葉のマッチングなどを行うことで、物事の理解・イメージ力の向上を図っていきます。また語彙力を高めるような関わりを行うことで、自発語を促す支援を行っていきます。
- ・必要に応じて絵カードやモデリングなどの視覚的支援を行うことで、相手の意図を理解したり、自分の意思を表現することができるように支援していきます。
- ・ジェスチャーや指差し、サインなど非言語でのコミュニケーション能力を高め、表現方法の拡大に努めていきます。
- ・発達の特性に応じて読み書き能力の向上のための支援を行っていきます。
- ・手話や展示・音声、触覚など多様なコミュニケーション手段を活用し、意思伝達ができるように支援していきます。

〈人間関係・社会性に対して〉

- ・スタッフとの信頼関係を築くことで、周囲の人との安定した関係を形成するための支援を行っていきます。
- ・遊びを通して人間関係の形成を学んでいきます。
- ・平行遊びから協同遊びへ、遊びの発展を通じて社会性の発展につなげていきます。
- ・自分の行動や思考の特性を理解し、気持ちのコントロールができるように支援していきま
- す。
- ・集団(社会参加)に必要なルールや手順を理解し、参加ができるように支援していきます。